投資情報室
（審査確認番号 2022-TB204）

週間市場レポート（2022年12月5日～12月9日）

1）先週の市場動向

指数名	国	前週末 2022/12/2	先週末 2022/12/9	前週末比 (%)
日経平均株価（円）	日本	27,777.90	27,901.01	0.44 ↗
ＴＯＰＩＸ（東証株価指数）	日本	1,953.98	1,961.56	0.39 ↗
ダウ工業株30種平均（ドル）	米国	34,429.88	33,476.46	▲ 2.77 ↘
Ｓ＆Ｐ500種指数	米国	4,071.70	3,934.38	▲ 3.37 ↘
ナスダック総合指数	米国	11,461.50	11,004.62	▲ 3.99 ↘
ユーロ・ストックス50指数	ユーロ	3,977.90	3,942.62	▲ 0.89 ↘
Ｓ＆Ｐ/ＡＳＸ300指数	豪州	7,270.45	7,177.69	▲ 1.28 ↘
上海総合指数	中国	3,156.14	3,206.95	1.61 ↗
MSCI AC アジア（除く日本）※		805.19	820.09	1.85 ↗
東証ＲＥＩＴ指数	日本	1,934.75	1,935.44	0.04 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数	米国	749.01	734.37	▲ 1.95 ↘
ＡＳＸ300 ＲＥＩＴ指数	豪州	1,402.00	1,384.30	▲ 1.26 ↘
グローバルＲＥＩＴ（除く日本）※		177.05	174.51	▲ 1.43 ↘
日本10年国債（%）	日本	0.255	0.256	0.001 ↗
米国10年国債（%）	米国	3.486	3.578	0.092 ↗
ドイツ10年国債（%）	ドイツ	1.856	1.933	0.077 ↗
英国10年国債（%）	英国	3.154	3.181	0.027 ↗
ドル/円	米国	134.31	136.56	1.68 ↗
ユーロ/円	ユーロ	141.48	143.85	1.68 ↗
英ポンド/円	英国	165.00	167.45	1.49 ↗
豪ドル/円	豪州	91.25	92.84	1.74 ↗
フィラデルフィア半導体指数		2,771.24	2,721.02	▲ 1.81 ↘
ＷＴＩ原油先物（ドル）		79.98	71.02	▲ 11.20 ↘
ＣＲＢ指数		276.69	266.28	▲ 3.76 ↘

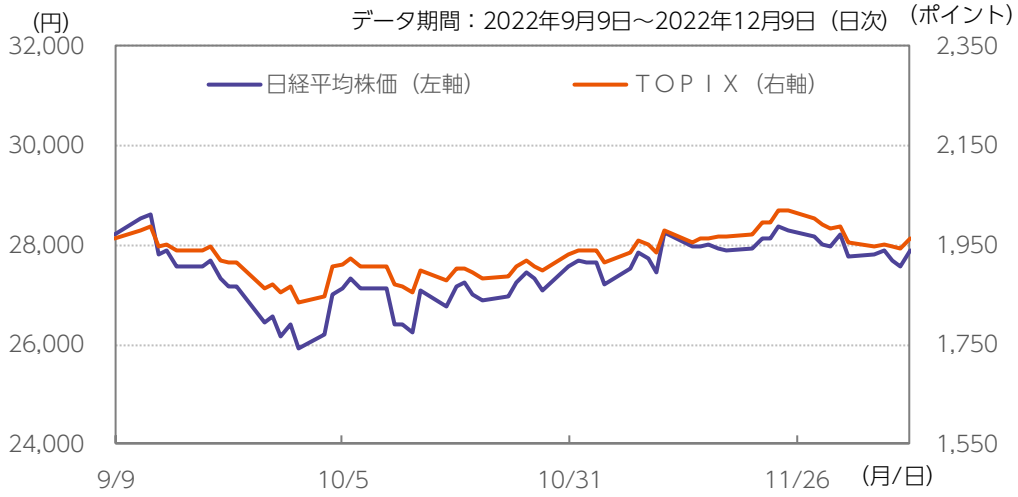
出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
※現地通貨ベース　＊ ▲はマイナスを表します。

2）日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で横ばいとなりました。

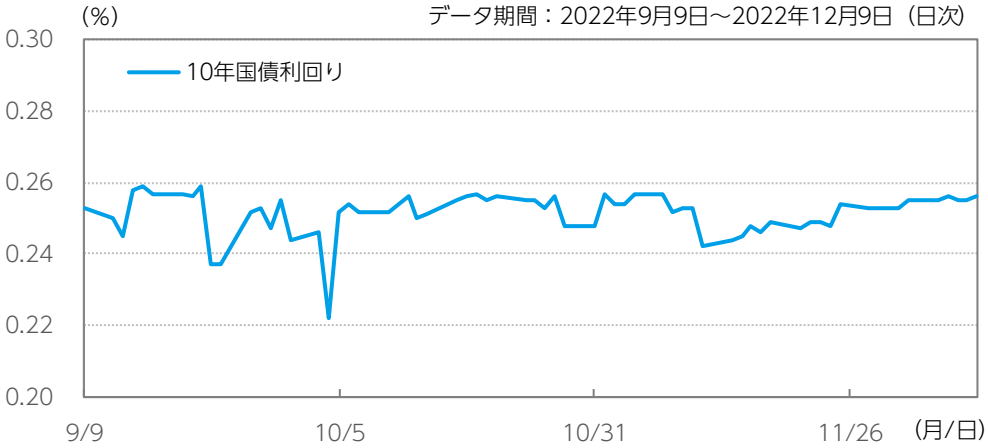
前週末に400円超下落した反動から自律反発狙いの買いが入り、週初は上昇しました。その後は、堅調な米経済指標を受け、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げの長期化とそれにともなう景気減速懸念が再び意識されると、主力株を中心に売られました。週末は、米長期金利の低下により金利上昇時に割高感が意識されやすいハイテク株などが買い戻された流れを受け、値がさ株の半導体銘柄が中心に買われ上昇しました。



≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。

景気減速懸念から米長期金利が低下した流れを受け、国内金利も低下する一方、新発10年債は相対的な割高感から売りも出やすく（利回りは上昇）、週間では前週末比で横ばいとなりました。

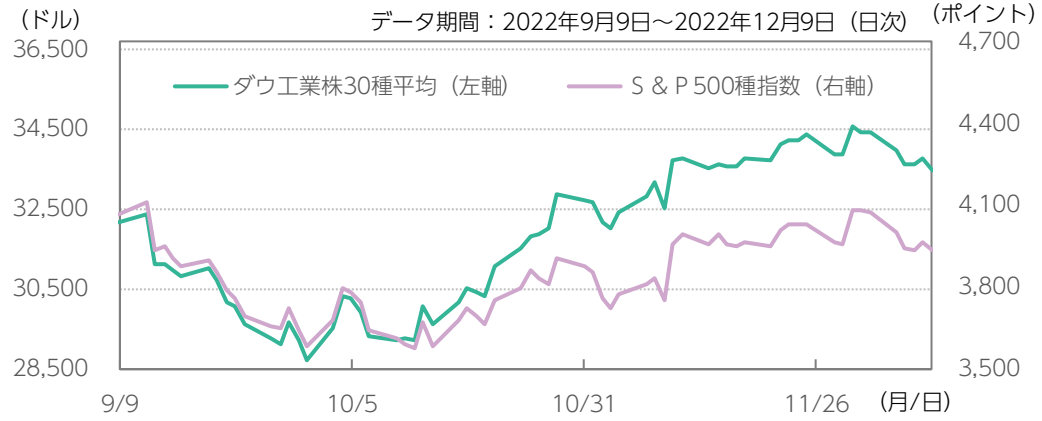


3）米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落しました。

米供給管理協会（ISM）非製造業景況感指数が市場予想を上回り、FRBの利上げが継続するとの見方が強まると、週前半は大幅に下落しました。連日下げたことによる割安感や、中国のゼロコロナ規制の緩和期待などから上昇する場面もあったものの、週末に発表された11月の生産者物価指数が市場予想を上回る伸びとなると、FRBによる利上げの継続が意識され下落しました。

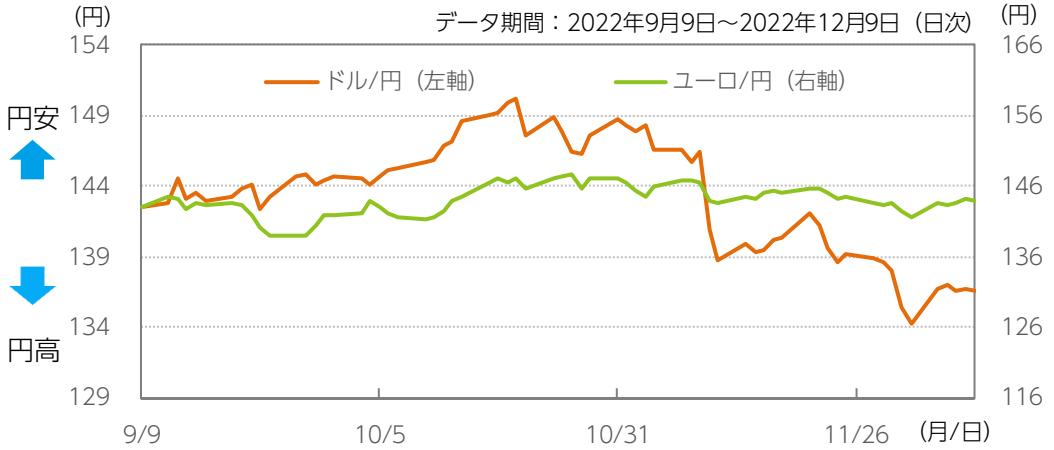


出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4）外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。

堅調な米経済指標を受け、米国の金融引き締めが長期化するとの見方から、大幅に円売り米ドル買いが進みました。その後、利上げにともなう景気減速懸念から米長期金利が大幅に低下する場面では、円買い米ドル売りが優勢となったものの、週間では円安米ドル高となりました。



5）今週の見通しについて

FRBによる積極的な金融引き締めが継続するとの見方が再び強まり、先週の米国株式市場は下落しました。

米国の今後の金融政策の方向性をめぐり、米経済指標を睨みながら株式市場は一進一退の展開が続いています。5日（月）に発表された11月の米供給管理協会（ISM）非製造業景況感指数は、市場予想を大幅に上回り、3ヵ月ぶりに上昇しました。米経済が引き続き堅調であることが確認され、市場ではFRBが積極的な利上げを続けるとの見方が改めて広がり、株式市場は下落しました。

今週は、11月の米消費者物価指数（CPI）や米欧の金融政策の決定会合に注目が集まります。市場では11月のCPIの伸びは低下すると予想されており、FRBが0.5％の利上げを決定するものと見込まれています。なお、パウエルFRB議長は会見で、利上げの継続の必要性を強調することで、足元でくすぶる市場の早期緩和期待をけん制するとみられており、パウエルFRB議長の発言次第では、株式市場では売り圧力が強まる可能性もありそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

＜設定・運用＞

ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY ASSET MANAGEMENT

商 号 等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社
コールセンター　0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ　https://www.nam.co.jp/